



2012 年度第 03 回常任理事会議事録

1. 開催日時(場所)

2012 年 06 月 10 日(日) 19:50～21:30 (千曲市戸倉体育館内会議室)

2. 常任理事会成立の条件

長野県フットサル連盟規約 Rev12 第 22 条「常任理事会の定足数」(3 名以上)により, 下記出席者を以って長野県フットサル連盟常任理事会として成立条件を満たしている。

出席者(敬称略):

滝澤正, 竹下英三, 菊地智之, 柳澤健司, 飯島正信

欠席(敬称略):

萩原慶一郎

従って, 下記議事内容は常任理事会として成立したので, 採決結果を含め議事録として記録する。

3. 付議内容

長野県フットサル連盟規約 Rev12 第 20 条に規定されているとおり, 事前に通知された案内(06/08 発信 Rev01)に記載された付議内容は以下であることが確認された。

【 報告事項 】

- リーグ登録に関する件について(菊地リーグ委員長)
- 県リーグに関する件について(飯島県リーグ運営委員長)
- SuperCup に関する県リーグの参加について(飯島県リーグ運営委員長)
- 全日本大学フットサル大会に関する件について(竹下大会実行委員長)

4. 配布資料の確認

今回は事前連絡が遅かったため, 事前資料の配布を義務付けなかった。

5. 報告事項

■ リーグ登録に関する件について(菊地リーグ委員長)

(1) 登録に関する報告

社団法人長野県サッカー協会(以下 NFA)への登録は、東信地区リーグ以外の処理を完了した。東信地区リーグに関しては継続して募集しているため、9/末登録完了を予定している。このタイミングに合わせて、一般財団法人日本フットサル連盟(以下 JFF)への登録を行う予定である。なお、登録に関する経費(振込手数料、郵送料など)は、現在のところ不足なく処理されていることが報告された。

(2) ユニフォーム広告掲出に関する報告

南信地区リーグから NFA を経由して公益財団法人日本サッカー協会(以下 JFA)に提出されたユニフォーム広告掲出に関しては、広告主の業種がユニフォーム規程の「公序良俗に反するものであってはならず」に抵触する恐れがあるため、該当ユニフォームの使用を禁止とした。このため常任理事会はリーグ委員会に対し、南信地区担当理事および南信リーグ担当理事を含め、ユニフォームの使用禁止をコントロールするよう指示した。

■ 県リーグに関する件について(飯島県リーグ運営委員長)

(1) 個人登録に関する報告

本年度より開始される JFF への個人登録費について、その支払いタイミングなどは北信越連盟に確認し、効率よく行うこととした。

(2) 県リーグ第 03 節までを終えた反省に関する報告

県リーグ運営要項ならびに実施要項で取り決められている内容(特に喫煙問題や、ガムを噛みながらのプレイなど)が、新規参入チームなどで散見される。機会のあるごと(事前のリーグ開催案内や当日のマッチコーディネーションミーティングなど)に注意し、抑制しているのが現状である。これは、県リーグ運営委員会は、チーム代表者宛てに通知しているだけで、チーム代表者からチームの末端メンバーまで周知されていないことが原因と考え、再度、チーム代表者から末端メンバーに周知するよう依頼し、結果を(誓約書などの目に見える形で)県リーグ運営委員長に報告することとした。常任理事会は、具体的な報告形式は県リーグ運営委員長に委任した。

また、チーム帯同審判員の審判証提示の際、本年度の審判証が届いていないとの発言から、当該試合の割当てを外し、NFA もしくは JFA にて確認するよう指示した。仮に、更新手続きが行われていなかった場合は、新たに帯同審判員を登録し、チーム帯同審判員を確保するよう指示した。本件は県リーグ運営委員長のコントロール配下におき、常任理事会は報告を求めることとした。

- SuperCupに関する県リーグの参加について(飯島県リーグ運営委員長)
現在までに 2 チームから不参加依頼を受けている。これは、該当チームの金銭的確保の困難が理由として上げられた。我々は、この SuperCup の位置づけを、長野県内の競技フットサル向上を目的とした大会としており、他地域強豪チームの参加を打診している。
本大会の意義を再度説明し、参加意思を強く持つよう働きかけることとした。
現在までに関東リーグの 2 チームに参加依頼しており、継続して東海リーグ所属チームへの参加依頼を行う予定である。北信越リーグは昨年同様、参加依頼を北信越連盟に依頼している。

- 全日本大学フットサル大会に関する件について(竹下大会実行委員長)
参加 6 チームを目標に、昨年度実施した第 01 回大学高校フットサル大会の成果や、アナウンスも虚しく、本年度も 2 チームが参加となった。松本大学と信州大学である。結果、松本大学が延長 PK の末、同北信越大会に駒を進めたこととなった。
大会は、経費捻出が難しいことが予想されたため、配置役員を中信地区に限定し、審判員も中信地区で行った。結果、若干の余剰を発生させることができた。
大会実行委員会は、出場チームを増やすために、何故参加できないか理由を調査し、取りまとめることとした。

6. 追認事項

(1) 2013 第 08 回長野オープン U23 選抜フットサル大会について

北信地区に在する高山村自治体を含めた新たな取り組みは、隣接する会場の確保が困難だと判明したため、高山村での開催を断念する。引き続き開催方法等を含めた協議を行う。東信地区軽井沢で、老朽化した体育館の改築案があり、軽井沢社会体育館と風越アリーナ(改築時期不明)を使った大会開催ができないか。また、南信地区伊那勤労者福祉体育館とその隣にある伊那市民体育館で開催できないか。いくつかの案が出された。

7. 次回常任理事会開催について

当初予定した 07/15(小谷村)は、ビーチサッカー県大会開催のため中止とした。

~~07/20(日)長野県フットサルリーグ第 05 節終了後、筑北村本城体育館内会議室を予定した。~~

07/22(日)北信越フットサルリーグ第 05 節終了後、南長野運動公園を予定した。

以上

(文責：滝澤 正)